

スーパー御庭番の達人たち… 7

御庭番ユーザー様のハイレベルな仕事ぶりをレポートするシリーズ、今回は、女性ならではの繊細な感覚を生かして生活感をおしゃれに演出する達人の、光と影のテクニックをご紹介します。

光や影、映り込みを繊細に表現してリアリティと雰囲気のあるパースを提案

スーパー御庭番の達人
ハウジングセンターミウラ 設計・奥平みゆき様

御庭番歴は8年。使い始めた最初の1週間、毎日1時間ぐらい手ほどきを受けただけでしたが、「思ったより簡単だね」という印象でした。それからすぐに図面を描きはじめ、3ヶ月ぐらいでほぼマスターしたと思います。今では、たいていのものは御庭番で描けると思います。入っていない部材や商品も、違う部材を使っている工夫して描いたりしますね。とくに、窓や池の映り込み、透明な素材の光の透過、樹木やフェンスなどの影、照明のあかりなど、光や影の処理には結構こだわります。そういう部分をきちんと描き込むことで、パース画の空間にリアルな存在感や奥行き感が生まれ、より説得力の

ある提案になると思うからです。当社の設計部は、私を含む社員3人とパートの方1人。みんなキャド歴5年以上のベテランです。ですから、いろいろと情報交換したり、描き方のテクニックを相談することもあります。実は、今回ご紹介している“映り込み”のテクニックは、松浦さんのアドバイスで発見したんですよ。御庭番の上達法ですか？ もともと私は機械オンチなんです。それでも御庭番は、さわってみたら意外にわかりやすく感じましたので、とりあえず作図して、わからないところが出てきたら、そのつど聞いて進めるようにしました。なので、機械は苦手という方でも、とにかくじって作図してみることをお勧めしたいですね。



ハウジングセンターミウラ 設計・奥平みゆき様



設計ルームでは全員キャドを使って作図しています。スタッフのみなさんはとても仲良しで、プランニングの相談や情報交換も。

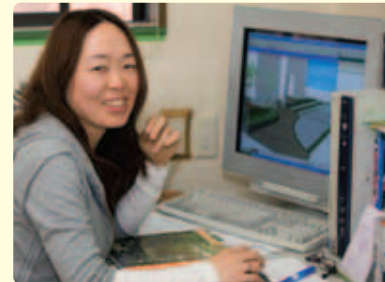


設計スタッフの幸田奈美子様、奥平みゆき様、松浦美絵様（写真左から）

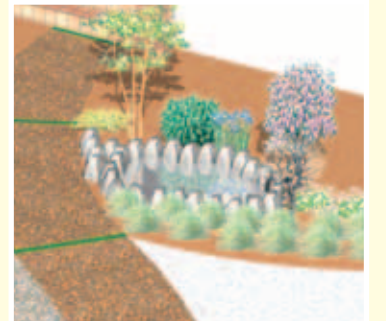
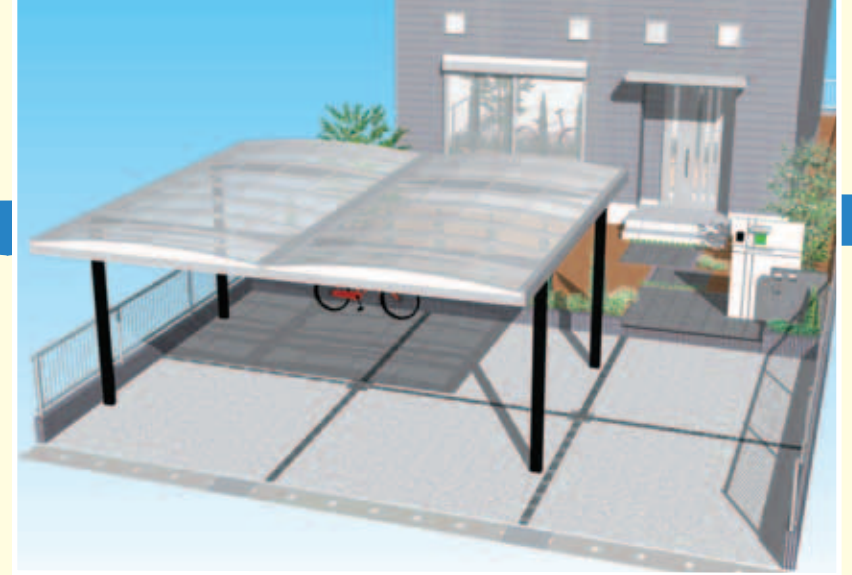
その2 達人のテクニック

ええっ？窓ガラスや池に景色が映る？ マル秘テクをこっそり伝授！

実は企業秘密なんですけど……特別にお教えしちゃいましょう(笑)。窓や池のテクスチャーを、車の「つやシルバー」に変えるだけなんです。これで自動的にまわりの景色が映り込むようになります。まわりのものが映り込むことで、リアルな生活感が出て、説得力のある絵になると思います。



御庭番の画面を出して、描き方のテクニックを解説する奥平様。



その3 達人のテクニック

影はくっきりと出すほうが効果的！ とくに樹木の葉の影は美しい

御庭番の影の表現は、「通常」と「分散」がありますが、私は影がくっきりと出る「通常」が好きです。影のラインがはっきりと出ること、光の部分が際立ちますし、そのコントラストから空間の奥行き感が感じられるからです。とくに樹木の葉の繊細な影はとても美しく、雰囲気のある生活のシーンをつくることのできる、よく利用しています。できれば、御庭番にもっと樹木の種類を増やしてほしいですね。



その4 達人のテクニック

時には夜景のイメージも提案してお客様の夢をふくらませる

同じエクステリアでも昼と夜では雰囲気が違います。パース画でも同じこと。ライトアップなどにこだわったプランの場合は、こうして夜景を描いて、光と影の感じをお伝えすることも。そうすればお客様にもイメージがわかりやすいと思います。



その1 達人のテクニック

カップやケーキでティータイムを演出 女性ならではの細やかな小物使い

カップはプランターを使用。ケーキは多角柱で三角をつくり、お皿は水鉢を小さくしました。トレーはフリーで平面を描いて、植栽のテクスチャーを柄をつけ、フチは連続塀からつくりました。こういう小物があると、生活シーンが楽しくイメージできるのではないかと思います。

